

令和 3 年 度 入 学 試 験 問 題

国 語 (3 科目入試)

注 意

1. 合図があるまで表紙をあけないこと。
2. 解答はHBの黒鉛筆もしくはシャープペンシルで解答用紙の問題番号に対応した解答欄にマークすること。
3. 解答用紙に受験番号を正しくマークし、氏名を記入すること。
4. 解答用紙に解答以外のことを書いた場合、その答案は無効とする。
5. 受験票は机に出しておくこと。
6. 【国語】の問題は1番から40番までとなっており、別に記述問題が1問あります。記述問題の解答は、マークシートではなく記述問題用の解答用紙に解答すること。

一

次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

国語

著作権の関係上、公開しておりません。

著作権の関係上、公開しておりません。

著作権の関係上、公開しておりません。

(田島樹里奈「技術—情報社会における感性の喪失 ハイパー資本主義を問い直す」による)

(注1) ヴォルフガング・ヴェルシュ——ドイツの哲学者・美学者。

(注2) ドゥルーズ——フランスの哲学者。

(注3) ガタリ——フランスの哲学者。

(注4) ラッツァラート——フランスの社会学者・哲学者。

* 問題の作成上の都合により、本文の一部に手を加えてある。

問1 傍線部1「人々の命が単なる記号や数字と化している」とあるが、これはどういうことか。その説明として最も適当なものを、次のa～eのうちから一つ選びなさい。解答番号は1。

- a 人々の命が観念化され、事の重大さを人々が改めて問い直すようになってきたということ。
- b 人々の命が虚構化され、事の重大さが人々に少しも衝撃を与えなくなっているということ。
- c 人々の命が抽象化され、事の重大さが人々の心に響くことが少なくなっているということ。
- d 人々の命が対象化され、事の重大さを人々が明確に認識できるようになってきたということ。
- e 人々の命が情報化され、事の重大さが人々に何の疑問ももたらさなくなっているということ。

問2 空欄①～⑤を補うのに最も適当なものを、次のa～eのうちからそれぞれ一つ選びなさい。ただし、同じものを二度以上選んではならない。解答番号は

は	①	②	③	④	⑤	⑥
	1	2	3	4	5	6

a なぜなら b しかも c 他方 d つまり e しかし

問3 傍線部2「私たちの『感性』は『無感性化』を強いられている」とあるが、それはなぜか。その説明として最も適當なものを、次のa～eのうちから一つ選びなさい。解答番号は 7。

a 産業資本主義を乗り越えて高度に発達した資本主義の新しい形態が生まれたことにより、いままでの社会に適應する手段や方法が役に立たなくなっていたから。

b 今日の社会では、情報が私たちの生活に必要な不可欠なものになってはいるが、実質的な価値や意味をもたらすことがなく、私たちの感性に刺激を与えなくなっていたから。

c 日々の情報が単なる消費の対象になってしまい、対人関係のコミュニケーションの役割を果たさなくなってしまったことにより、情報の形骸化を呈してしまっているから。

d ハイパー資本主義という新しい資本主義の下では物事を論理的に捉える力のみが評価され、感覚器官を用いて感性を働かせることが評価されなくなっているから。

e 大量消費社会が加速し、すべて記号や数字でとらえるようになり、自らの意志と自由を持つ主体である私たちが消費者として積極的に情報発信しなくなっているから。

問4 空欄Iを補うのに最も適當なものを、次のa～eのうちから一つ選びなさい。解答番号は 8。

a 具体化 b 相対化 c 規範化 d 現実化 e 形而上化

問5 二重傍線部i、iiのここでの意味として最も適當なものを、次のa～eのうちからそれぞれ一つずつ選びなさい。解答番号は i 9 ii 10。

i 瀕している

a 参画している

b 抵抗している

c 従属している

d 直面している

e 対応している

ii 無償

a 報酬を求めない

b 責任を負わない

c 評価を加えない

d こだわりを持たない

e 受けを狙わない

問6 空欄甲に入る〔1〕～〔4〕の文を正しく並べたものを、次のa～eのうちから一つ選びなさい。解答番号は 11。

〔1〕 ヴェルシュは、この語が多くの場合、その認識的な極ばかり強調されてきたことを指摘しながら、第一次的にこの語を感覚へ関係づけようとした。

〔2〕 そこでここでは、ヴェルシュの指摘を受けて、技術―情報社会において人々の感覚が鈍麻した状態を「感性の喪失」と捉え、その一因をハイパー資本主義に見出すことを試みたい。

〔3〕 ちなみにヴェルシュが、「感性」を語るとき、それは感覚的な知覚であれ精神的な知覚であれ、あらゆる種類の知覚を主題化する学として捉えていたことには注意が必要である。

〔4〕 ここではそれらを踏まえつつ、彼に賛同する形で議論を進めたい。

- | | |
|--|---|
| <p>a 〔2〕↓〔1〕↓〔3〕↓〔4〕</p> <p>c 〔4〕↓〔1〕↓〔2〕↓〔3〕</p> <p>e 〔4〕↓〔2〕↓〔3〕↓〔1〕</p> | <p>b 〔2〕↓〔3〕↓〔1〕↓〔4〕</p> <p>d 〔4〕↓〔2〕↓〔1〕↓〔3〕</p> |
|--|---|

問7 傍線部3「機械状隷属」とあるが、これはどういう状態か。その説明として最も適當なものを、次のa～eのうちから一つ選びなさい。解答番号は12。

a 機械状隷属とは、社会システムが個人を管理するところでは、人間が機械に服従することになり、さらには人間と機械との区別がつかなくなり、人間が機械に同化してしまっているという状態。

b 機械状隷属とは、産業資本主義がさらに高度に発達したところでは、人間の感性が無感性化することになり、個人が物的・物理的な機械装置の一部になってしまっているという状態。

c 機械状隷属とは、大量消費社会が加速し、生産者ではなく消費者としての意識が強くなったところでは、人間が自らの快楽や欲求を満たすことが中心になってしまっているという状態。

d 機械状隷属とは、従来の思考モデルが否定されたところでは、人間と機械との関係が逆転することになり、機械を人間の一部分として使用するようになってしまうという状態。

e 機械状隷属とは、規律社会から管理社会へと移行したところでは、個人が知らないうちに脱主体化され、個人が機械的集合体の単なる一部分として機能するに過ぎなくなってしまうという状態。

問8 空欄Ⅱ（二箇所ある）を補うのに最も適當なものを、次のa～eのうちから一つ選びなさい。解答番号は13。

a 規範的 b 絶対的 c 実際の d 抽象的 e 体系的

問9 空欄Ⅲを補うのに最も適當なものを、次のa～eのうちから一つ選びなさい。解答番号は14。

a 機能的で操作的な記号 b 一般的で現実的な記号 c 体系的で具体的な記号
d 有機的で合理的な記号 e 規範的で制度的な記号

問10 傍線部4「ネット社会」とあるが、本文におけるこの社会の説明として、最も適当なものを、次のa～eのうちから一つ選びなさい。解答番号は15。

a ネット社会においては、いかに他者から認められ、よい評価を得るかに精力が注がれるようになり、今までよりも外界に対する感受性が鋭敏に働き、人間が感性豊かになった。

b ネット社会においては、一方通行ではなく双方の情報のやり取りが可能になり、消費者が自らの欲望を発信することにより、主体的に生産に関わることができるようになった。

c ネット社会においては、他者と異なったモノを持つことではなく、人々から注目されるような財としての情報が価値を持つようになり、情報が商品として捉えられるようになった。

d ネット社会においては、情報の受信者と発信者という境界がかつてのように強固なものではなく、画面の中に広がる社会に管理され、発信者としての意識が弱くなった。

e ネット社会においては、自らが資本主義経済に上手く餌いならされているということなどお構いなく、消費者自身が自らの情報を発信し、積極的に社会参画するようになった。

問11 本文の内容と一致するものを、次のa～eのうちから一つ選びなさい。解答番号は16。

a 個人を管理するような隷属的な社会においては、人間は機械のように社会に従属しているだけで、人間は労働者という主体的な人間として存在することができない。

b 機械は人間とつながりながらも、多種多様な非物質的な要素ともつながることで、主体・客体という枠組みを壊し、人間とは対立するものであるとガタリは考えていた。

c 産業資本主義からハイパー資本主義へと資本主義が新しい形態へと進化を続けたことで、情報の発信者としての人間は社会から疎外される状況から脱却することができた。

d ハイパー資本主義では、物質的労働にこだわるのではなく、情報や知識やサービスを生産する非物質的労働が中心になり、「無感性」の状況を進行させることになった。

e 本来は情報とは内容を伝えるものではなく、心の中に概念を形づくればよかったのだが、現代社会においては、受信者が求める内容も伝えなければならなくなった。

著作権の関係上、公開しておりません。

著作権の関係上、公開しておりません。

著作権の関係上、公開しておりません。

（奥野克巳「人類学の現在、絡まりあう種たち、不安定な『種』」による）

(注1) アッサンブラージュ 組み合わせ。

(注2) ドメスティケーション——人間が野生の動植物から、それまでには存在しなかった家畜や栽培植物を創り出すこと。

* 問題の作成上の都合により、本文の一部に手を加えてある。

問1 傍線部1「奇妙に響くだろうか」とあるが、このように言うのはなぜか。その説明として最も適當なものを、次のa～eのうちから一つ選びなさい。

解答番号は **17**。

- a 人類学とは人間の動物的側面を研究するものだとい般的には定義づけされるから。
- b 人類学とは人間のことをだけ探求していればそれでよいと誰も考えていないから。
- c 人類学が人間のことを探求するというに、普通は何も不自然さを感じないから。
- d 人類学では人間を理論的に研究できず、正統な学問だとはとらえられていないから。
- e 人類学ははまだ研究方法が確立されておらず、様々な方法が試されているから。

問2 空欄Iを補うのに最も適當なものを、次のa～eのうちから一つ選びなさい。解答番号は **18**。

- a 一般的な理解
- b 再帰的な課題
- c 潜在的な問題
- d 因襲的な方法
- e 画期的な論考

問3 空欄IIを補うのに最も適當なものを、次のa～eのうちから一つ選びなさい。解答番号は **19**。

- a 典型的
- b 絶対的
- c 現実的
- d 包括的
- e 体系的

問4 傍線部2「人類学の新たな領野を切り拓いた」とあるが、これはどういうことか。その説明として最も適当なものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。解答番号は **20**。

- a 人類学の課題を民族誌的な視点から自己反省的に検討するという流れと連携しながら、コーンはヒューマンとノンヒューマンとの境目を無化するような人類学を切り拓いたということ。
- b 局地的な調査をおこない研究の成果を上げながら研究の枠組みを広げていくという流れを参照しながら、コーンはいままでになかった新しい人類学を切り拓いたということ。
- c 今までのような人間のことだけを探求する学問ではなく、総合的な学問を目指すという流れを継承しながら、コーンは民族誌を制度化した新しい人類学を切り拓いたということ。
- d 動物と人間とが関わりながら共生していくという発想のもとで研究を進めるという流れを受け継ぎながら、コーンはアメリカの人類学ともイギリスの人類学とも異なる人類学を切り拓いたということ。
- e 人間と他の生物種との関係をも視座に入れたなかで研究をおこなうという流れを踏襲しながら、コーンは人間的なるものを越えた人類学を切り拓いたということ。

問5 空欄Ⅲを補うのに最も適当なものを、次のa～eのうちから一つ選びなさい。解答番号は **21**。

- a 理性中心主義的な問題
- b 人間中心主義的な傾向
- c 客観中心主義的な理論
- d 近代中心主義的な認識
- e 情緒中心主義的な感覚

問6 傍線部3「動的な『人間―生成』とあるが、これはどのような考え方に基づいているのか。その説明として最も適当なものを、次のa～eのうちから一つ選びなさい。解答番号は22。

a たとえばハゲワシが人間と直接的なかわりがないように見えて、人間の健康を守っているように、人間の暮らしは他の生物種の恩恵を被っているのだから、他の生物種を対象化してとらえるべきであるという考え方。

b たとえば人間が牛にディフロフェナクを投与することにより、まわりまわって人間に影響をもたらすように、人間と他の生物種との相互作用が全体の秩序を形成し、人間そのものをも作り出していくという考え方。

c たとえばマツタケを採取し一時的に利益を得ても、そのことによりマツ林が荒らされることになるように、目先の利益を追求する人間の行動が長い時間軸で捉えると環境を破壊することになるという考え方。

d たとえば菌根菌は痩せた土地でも育たないので農家の人びとがマツ林に手を入れることで死滅してしまうように、人間が自然環境に良いと思っておこなったことが、結局は皮肉にも逆の結果になることが多々あるという考え方。

e たとえば牛を農耕のための道具ではなく、人間とともに生きる相手としてとらえなければならないように、人間も他の生物も神の被造物としては同じだと捉え、他の生物種を自らとともに大切に扱わなければならないという考え方。

問7 次の文は、本文中の【1】～【5】のどこに入るか。次のa～eのうちから一つ選びなさい。解答番号は23。

このようにして個体は絡まりあって生きており、生と死を含む複数種の文脈では、他者の苦しみへの純粋な反応を考慮しなければならない。

a 【1】 b 【2】 c 【3】 d 【4】 e 【5】

問8 空欄Ⅳを補うのに最も適当なものを、次のa～eのうちから一つ選びなさい。解答番号は 24。

- a 「飼育する／飼育される」という古典的な二項図式
- b 「食べる／食べられる」という食物連鎖的な二項図式
- c 「搾取する／共存する」という典型的な二項図式
- d 「個体化する／共同体化する」という実体的な二項図式
- e 「破壊する／調和する」という近代的な二項図式

問9 傍線部4「ハイブリッド」とあるが、この言葉の辞書的な意味として最も適当なものを、次のa～eのうちから一つ選びなさい。解答番号は 25。

- a 負荷をかけることなく環境に優しいということ。
- b 異質なものが組み合わせられているということ。
- c 他者に依存することなく自立しているということ。
- d 協力し合って共存しながら生きているということ。
- e 力の強いものが他の者を支配しているということ。

問10 次の①～⑤のうち、筆者の考え方にあてはまるものにはa、あてはまらないものにはbをマークしなさい。解答番号は ①―26 ②―27

③―28 ④―29 ⑤―30。

① 人類学という学問は、絶対的に確立された研究方法や考え方が存在しているわけではなく、研究者や地域や時代とともに変遷し続けており、現在も新たなものになるうとしていく。

② カント以降の哲学では、人間がモノに対してつねに特権的な位置を占めていると考えるが、人類学ではつねに生物種との共存関係の中で人間をとらえていた。

③ 局地的な調査を行ったレイヴィストロースは、集団内に普遍的原理を発見したが、その手法を取り入れた人類学者が二一世紀になりマルチスビー・シリーズ人類学を提唱した。

④ 人類学は人間のことだけを探求し、人間の文化の記述と考察をおこなう学問であると一般的に思われているが、様々な人類学があり、現在も新しい人類学が生まれている。

⑤ 人間は自らの生息地で他の生物種とともに生存しているが、環境や関わる生物種が変化しても、人間は自らを変化させることなく一定の状態を保って生きることができる。

問11 波線部「マルチスビー・シリーズ人類学」はどのようなことを目指しているのか。本文中の語句を用いて、一〇〇字以内で説明せよ。

※解答は記述問題用の解答用紙に記入しなさい（マークシートには記入しないこと）。

問1 次の漢字の画数として正しいものを、後のa～eのうちから一つ選びなさい。解答番号は **31**。
 薦

- a 十五画 b 十六画 c 十七画 d 十八画 e 十九画

問2 熟語の表記が三つとも正しいものを、後のa～eのうちから一つ選びなさい。解答番号は **32**。

- a 腹鼓―決審―尊顔
 b 笑止 情趣 満裁
 c 負心―踏襲―促成
 d 寡作―虚仮―不遇
 e 窮余―換起―素地

問3 次の文の、カタカナ部分の傍線部と同じ漢字を書くものを、後のa～eのうちから一つ選びなさい。解答番号は **33**。
 コウカク泡を飛ばす。

- a 体制のチュウカクをなす。
 b 会社のエンカクを調べる。
 c ゴカクの戦いを繰り広げる。
 d ヒンカクが備わっている。
 e 顔のリンカクを描く。

問4 次の四字熟語の空欄に使われている漢字の組み合わせとして正しいものを、後のa～eのうちから一つ選びなさい。解答番号は **34**。

熟読□味 — □天白日 — 正真正正□ — 疑心暗□ — 意□消沈

a 含 — 晴 — 名 — 奇 — 気

b 玩 — 晴 — 名 — 鬼 — 機

c 玩 — 言 — 銘 — 鬼 — 気

d 含 — 晴 — 銘 — 奇 — 機

e 含 — 言 — 銘 — 鬼 — 気

問5 傍線部のことわざ・慣用句の使い方が正しいものを、次のa～eのうちから一つ選びなさい。解答番号は **35**。

a 彼は縦のものを横にもしない頑固者だ。

b □が酸っぱくなるほど怒りが込み上げてきた。

c 堰を切ったようにお金がたまり始めた。

d 焼けばつにくいに火が付き、彼とは会いにくくなった。

e 正義感の強さでは人後に落ちない。

問6 ことわざ・慣用句とその意味の組み合わせとして正しくないものを、次のa～eのうちから一つ選びなさい。解答番号は **36**。

a 胡麻をする — 自分の利益を得ようと他人にへつらう。

b 指呼の間 — 人に対しておごり高ぶった態度をとる。

c 畳の上の水練 — 理屈は分かっている、実際には役に立たない。

d 元の木阿弥 — いったん良い状態になったのに、再び以前の悪い状態に戻る。

e 左うちわで暮らす — のんびりと安楽に暮らす。

問7 次の五つの熟語の反対語を1～10の内から選ぶとき、正しいものがすべて含まれている組み合わせを、後のa～eのうちから一つ選びなさい。解答番号は **37**。

「傍観」「概略」「蓋然」「直面」「仮寓」

- | | | | | | | | | | | |
|---|------------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| | 1 永住 | 2 回避 | 3 曲折 | 4 偶然 | 5 介入 | 6 主観 | 7 詳細 | 8 実在 | 9 必然 | 10 拒絶 |
| a | 1、2、5、7、9 | | | | | | | | | |
| b | 2、3、5、7、10 | | | | | | | | | |
| c | 1、3、6、8、9 | | | | | | | | | |
| d | 2、4、5、9、10 | | | | | | | | | |
| e | 3、4、6、7、8 | | | | | | | | | |

問8 次の傍線部と同じ働きものを、後のa～eのうちから一つ選びなさい。解答番号は **38**。
自動車で待ち合わせ場所に向かった。

- a 試合が雨で中止になった。
- b 私の実力では無理です。
- c 若い人の間で人気がある。
- d 委員長を投票で決めた。
- e 一週間で仕上げてください。

問9 三島由紀夫の作品を、次のa～eのうちから一つ選びなさい。解答番号は **39**。

- a 仮面の告白
- b 砂の女
- c 機械
- d 網走まで
- e 行人

問10

1886年に岩手県で生まれ、詩集『あこがれ』や歌集『一握の砂』などを発表したのが、病氣のために若くして亡くなったのは誰か。次のa～eのうちから一つ選びなさい。解答番号は40。

a 与謝野鉄幹

b 立原道造

c 中原中也

d 谷川俊太郎

e 石川啄木

<メモ>

<メモ>